



立野

たのびの

校訓
一 一 一
敬 明 健
愛 朗 康

宮城県立石巻支援学校

〒986-0861

宮城県石巻市蛇田字新立野 410 番の 1

TEL 0225-94-0202

FAX 0225-94-0206

ishinomaki-hs@pref.miyagi.jp

http://syou.myswan.ne

石巻支援学校 学校便り 平成24年度 第1号 平成24年4月12日発行



チャレンジド・ファースト

校長 今野 和則

おかげさまで、本校の平成24年度がスタートしました。

昨年度のこの時期を振り返れば、当たり前の始まりが、この上なくありがたいことに感じられてなりません。

私事になり恐縮ですが、8年ぶりに古里である石巻支援学校にもどってまいりました。たくさんの懐かしい笑顔と再会し、温かいお声掛けをいただき、とてもありがたく感じています。

それにつけても、古里は、昨年の大震災からの復旧への道が、端緒についたばかりです。復興までの長い長い道のりが予想されます。されど人は、不幸な出来事からも叡智を汲めるものです。それらを衆知として集め、教育の復旧・復興から、さらなる創造の道へと、粛々と歩みを進めてゆきたいものです。

そのために、本校が、私たちが、何をすべきかの道筋は、前年度にしっかりと見通してきています。今年度も引き続き、心を一つにした「チーム石巻」を合い言葉に、「仲間の絆」を大切にしたいと考えています。

さて皆さんは、「チャレンジド・ファースト」という言葉を耳にしたことがありますか。「レディ・ファースト（女性優先）」や、「チルドレン・ファースト（子ども第一）」に続く大切なマナーや習慣として、社会的に定着して欲しいと、私が心密かに念じている言葉です。

「チャレンジド」とは、「障がいのある人」のことで、近年のアメリカで「ハンディキャップド」に代わって用いられるようになってきているとのこと。神様からチャレンジという使命を与えられた人、試練に挑戦する使命を与えられた人という意味です。すべての人間は、生まれながらに自分の課題に向き合う力が与えられています。しかも、その課題が大きければ大きいほど、向き合う力もたくさん与えられている、という考え方に基づいて作られた新語です。障がいをマイナスとして捉えるのではなく、障がいがある故に体験するさまざまな事象を、自分自身のため、あるいは社会のためにポジティブに生かしていこうという意味合いで用いられています。

震災を経て、新たに創造される社会は、共生社会であり、「チャレンジド・ファースト」な世の中であることを願ってやみません。障がいのある人にやさしい社会は、すべての人にやさしい社会になるはずですから……。



4月の行事予定		
日	曜	予定
1	日	学年始休業日(7)
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	披露式・始業式 11:30 下校
10	火	入学式 14:30 下校
11	水	高3男身体測定
12	木	高2男身体測定
13	金	高1男身体測定
14	土	
15	日	
16	月	結核検診(高1 X線) 10:00~
17	火	高女身体測定 尿検査ギョウ虫1 中学部対面式
18	水	血液循環器検査 (小1,4 中1高1 9:30~) 尿検査ギョウ虫2
19	木	身体測定中
20	金	学習参観 PTA総会, 学級懇談
21	土	
22	日	
23	月	身体測定小
24	火	高2聴力検査 交通安全教室小
25	水	歯科検診 9:00~
26	木	高3聴力検査 高2生活実践学習①
27	金	高1, 高3生活実践学習① 中2, 3聴力検査
28	土	開校記念日
29	日	昭和の日
30	月	振替休日